

再発または難治性の髄芽腫/PNET/ATRTに対する チオテパを用いた自己末梢血幹細胞移植に関する研究 (概要図)

□ 対象と目的

- ・19歳以下の再発難治性の髄芽腫、PNET、ATRT(atypical teratoid/rhabdoid tumor)
- ・チオテパを含む大量化学療法＋自己末梢血幹細胞移植の安全性と効果を検討
(同種同効薬で別途実施されている企業治験では、原疾患に対する他の治療を行っている患者は除外)

□ 治療レジメン

カルボプラチン

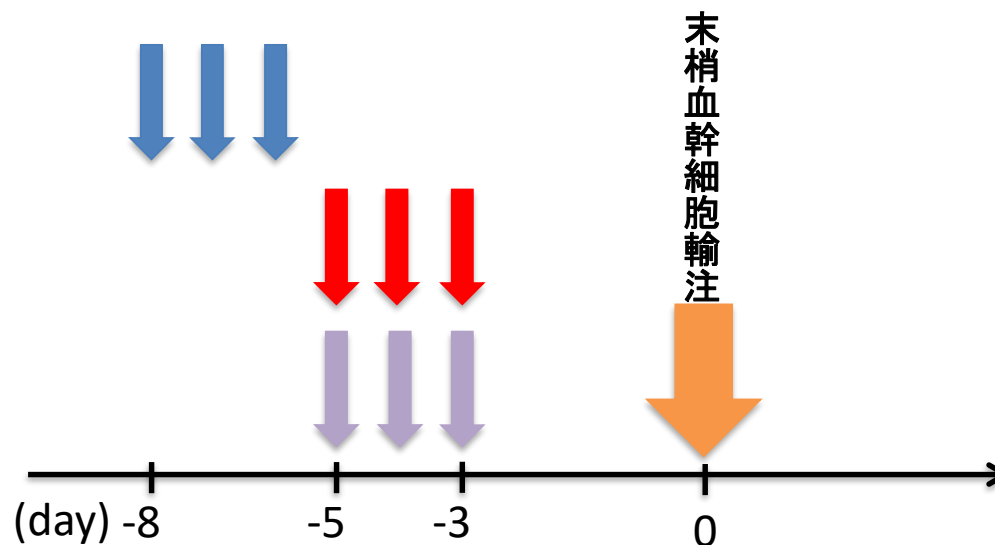
AUC7mg/ml・min/day

チオテパ

300mg/m²/day

エトポシド

250mg/m²/day



□ 主要評価項目

- ・自己末梢血幹細胞移植100日以内の全死亡率を主要評価項目とする

□ 症例登録予定

- ・登録期間: 2017年8月末まで。
- ・観察期間: 自己末梢血幹細胞移植から1年間